

宮崎市政モニター

令和元年度第3回アンケート集計結果

(令和2年2月実施分)

第3回アンケート

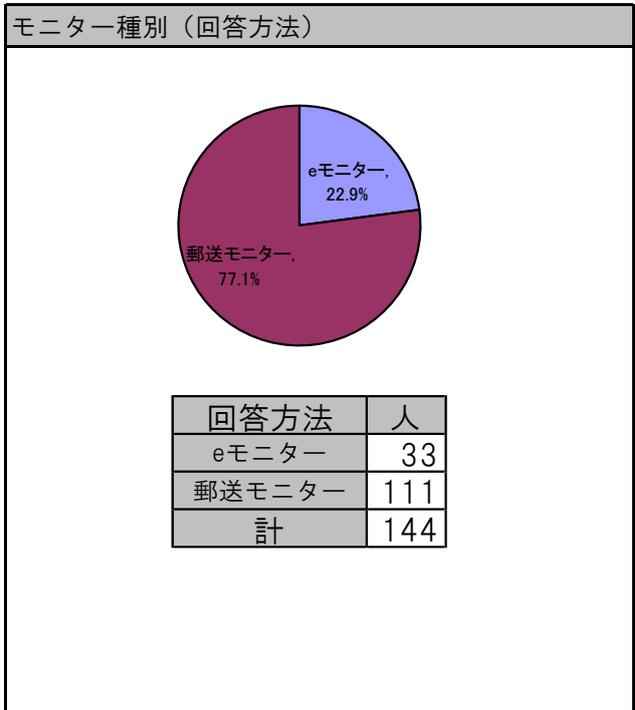
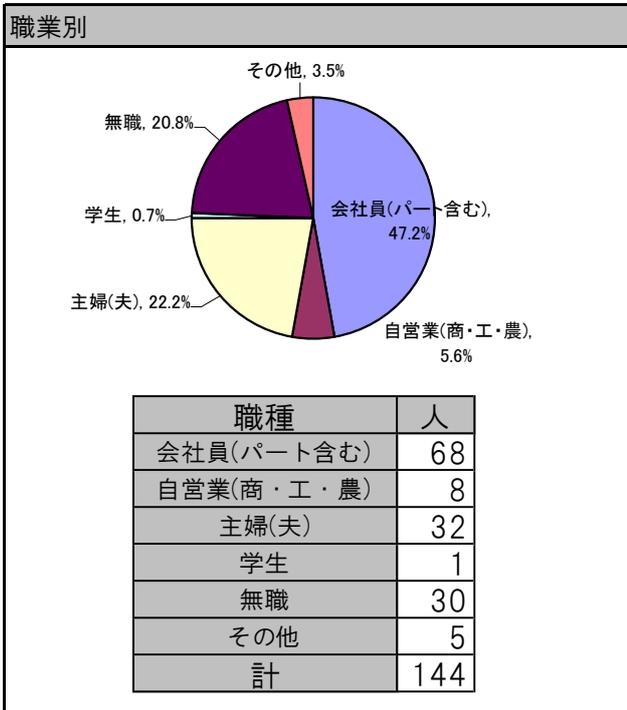
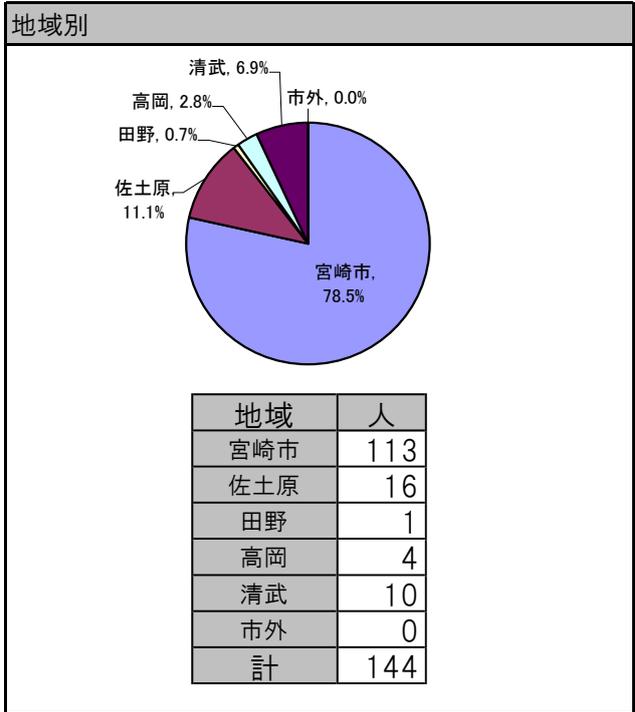
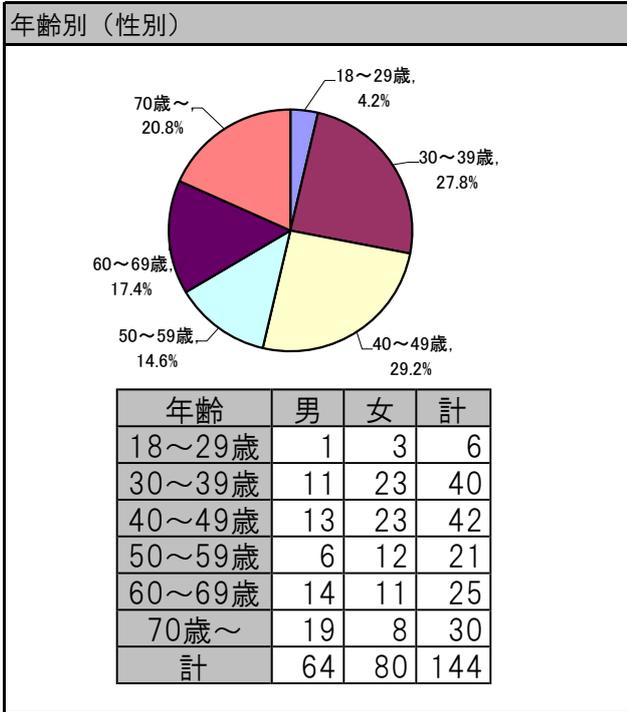
① 宮崎市政モニターアンケート 調査概要	・・・	1
② 「中心市街地活性化」に関するアンケート調査(商業労政課)	・・・	2
③ 「文化振興」に関するアンケート調査(文化・市民活動課)	・・・	11
④ 「市政広報」に関するアンケート調査(秘書課)	・・・	20

宮崎市秘書課広報広聴室

令和元年度 第3回宮崎市政モニターアンケート調査概要

(1) 調査担当課	①商業労政課 ②文化・市民活動課 ③秘書課
(2) 調査内容	①「中心市街地活性化」に関するアンケート調査 ②「文化振興」に関するアンケート調査 ③「市政広報」に関するアンケート調査
(3) 調査期間	令和2年1月31日～2月17日 ※終了後も一定期間回収
(4) 送付数	163人 (郵送モニター116人、e-モニター47人)
(5) 回答数	144人 (郵送モニター111人、e-モニター33人) 回答率88.34%

モニター属性（回答者） 令和2年2月28日



中心市街地活性化についての市民意識調査 集計結果

◆ 調査の目的

本市では、県都の顔である中心市街地の活性化を図るため、「宮崎市まちなか活性化推進計画」を平成30年3月に策定し、各種施策に取り組んでいる。中心市街地活性化に関する調査により各種施策等の進捗状況や成果を検証するとともに、今後の施策を検討する。

◆ 調査の概要

- | | | |
|-----------|----------------------------|--------------|
| (1) 調査期間 | 令和2年1月31日 ~ 令和2年2月17日 | ※終了後も一定期間回収。 |
| (2) モニター数 | 163人 | |
| (3) 回答者数 | 144人 | (回答率88.34%) |
| (4) 担当課 | 観光商工部 商工戦略局 商業労政課 まちなか活性化室 | |

◆ 調査結果考察

問10「5年前と比べて、中心市街地は活性化しているか」との問いに対し「やや活性化している」という回答が最も多く、昨年度までのアンケートでは「変わらない」との回答が多かった点から比較すると改善が見られる。そのことが、問8「5年前と比べて、中心市街地に出かける機会が変化したか」との問いについて、「増えた」「やや増えた」という回答が増えたことに繋がっているものと考えられる。同じく、問9「5年前と比べて、中心市街地の魅力はどう変化したか」の問いについては、「魅力がやや上がった」という回答が増えている。宮崎駅西口再開発や、ポンベルタ橋の(株)ドン・キホーテによる株式取得など、中心市街地内での民間事業者が主導する取組みにより、活性化に向けた動きが見られることが期待感につながっているものと推察される。

- ・ 問2「中心市街地に出かける回数」は、「週3回以上」が増加した一方で、「週1～2回」「月1回程度」と回答した方が減少傾向にある。一方で、「月2～3回」が増加傾向にあることから、中心市街地によく出かける層とあまり出かけない層が分かれていることが推察される。
- ・ 問3「中心市街地に出かける主な交通手段」は、8割近くが自家用車となっているが、前年と比較すると「自転車」「徒歩」が増加している。来街頻度が高い層が「自転車」や「徒歩」で来街していることが推察される。一方で、中心市街地に出かける回数の少ない層が回答した、問6「中心市街地に行かない理由」では「駐車場・駐輪場が不便」「無料の駐車場がない」「駐車料金が高い」の回答が多くなっており、自家用車で中心市街地に来る層に対する対策の検討が引き続き必要であることが推察される。
- ・ 問11「“マチナカ3000”プロジェクトの認知度」は年々増加傾向にあるが、認知度としては25%程度に留まっている。同様に問14「中心市街地の活性化に関する事業の認知度」では、近年の取組みである「みやざき創業サポート室」「ワークライフプロモーション事業」「まちなか公共空間活用促進事業」の認知度が低いことがわかるので、積極的かつ効果的な広報が求められる。しかしながら、本年度に実施した「グリーンスローモビリティ実証調査実施事業」は、9割近い認知となっており、マスコミ等でも広報されたことも含めて注目度の高さが確認できる。
- ・ 問13「今後特に重要と考える項目」では、⑤空き家や空き店舗対策、⑯回遊性、⑧商業機能の充実、⑩景観づくりや防災・減災対策の順で回答が多かった。

◆ 調査結果まとめ

宮崎市まちなか活性化推進計画のフォローアップ、成果指標の確認、検証の基礎的資料として活用するほか、まちづくり推進組織等で情報共有を行うなどして、今後の施策の展開に役立てる。

◎ 調査結果

集計結果の数値（％）は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の設問は、回答者数を母数とする。

問1 あなたのお住まいは、上の図の中心市街地区域内にありますか。

選択肢	回答数	構成比
① 中心市街地区域の中にある	6	4.2%
② 中心市街地区域の外にある	138	95.8%
無回答	0	0.0%
計	144	100%

問2 中心市街地に出かける回数について、あてはまるものを1つだけ選んでください。
(中心市街地区域内にお住まいの方は、区域内のお店などに出かける場合を想定してお答えください。)

選択肢	回答数	構成比
① 週3回以上	28	19.6%
② 週1～2回	17	11.9%
③ 月2～3回	30	21.0%
④ 月1回程度	20	14.0%
⑤ 2～3か月に1回程度	24	16.8%
⑥ ほとんど行かない	24	16.8%
計	143	100%

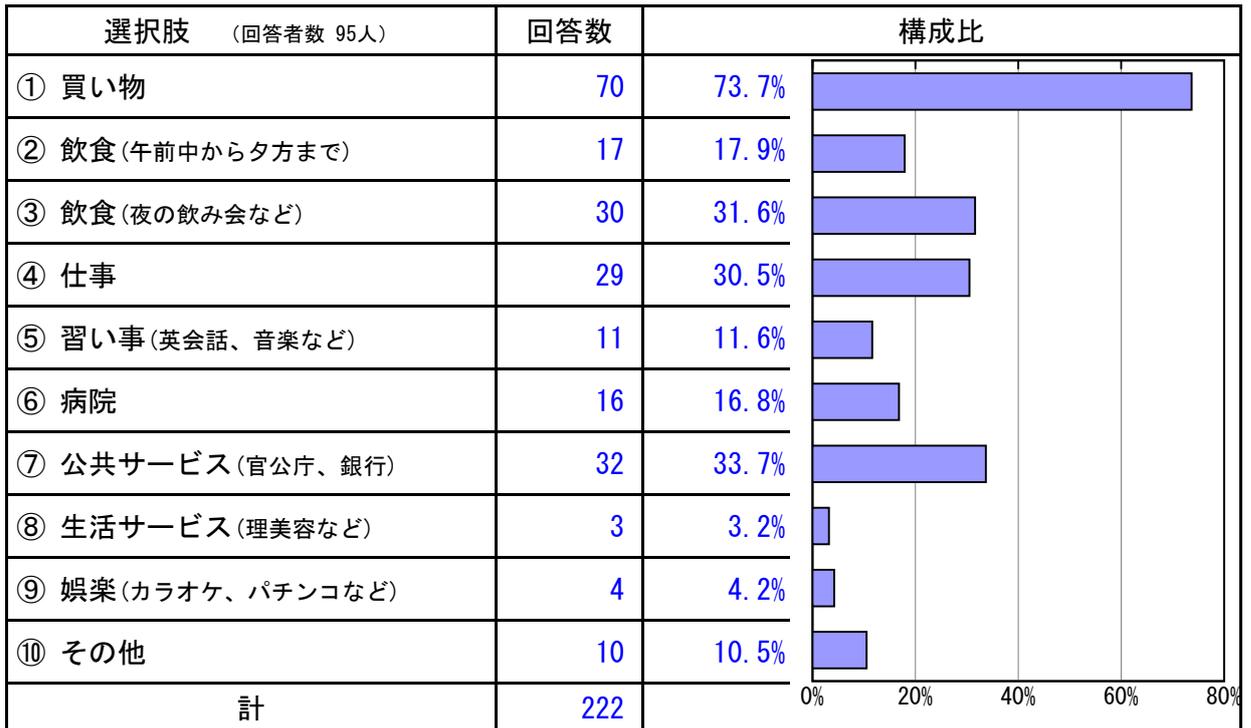
【問2で「①週3回以上」、「②週1～2回」、「③月2～3回」、「④月1回程度」と回答した方のみ回答】

問3 中心市街地に出かける主な交通手段を2つまで選んでください。

選択肢 (回答者数 95人)	回答数	構成比
① 自家用車	72	75.8%
② 電車・バス	30	31.6%
③ タクシー	2	2.1%
④ バイク	1	1.1%
⑤ 自転車	23	24.2%
⑥ 徒歩	15	15.8%
計	143	

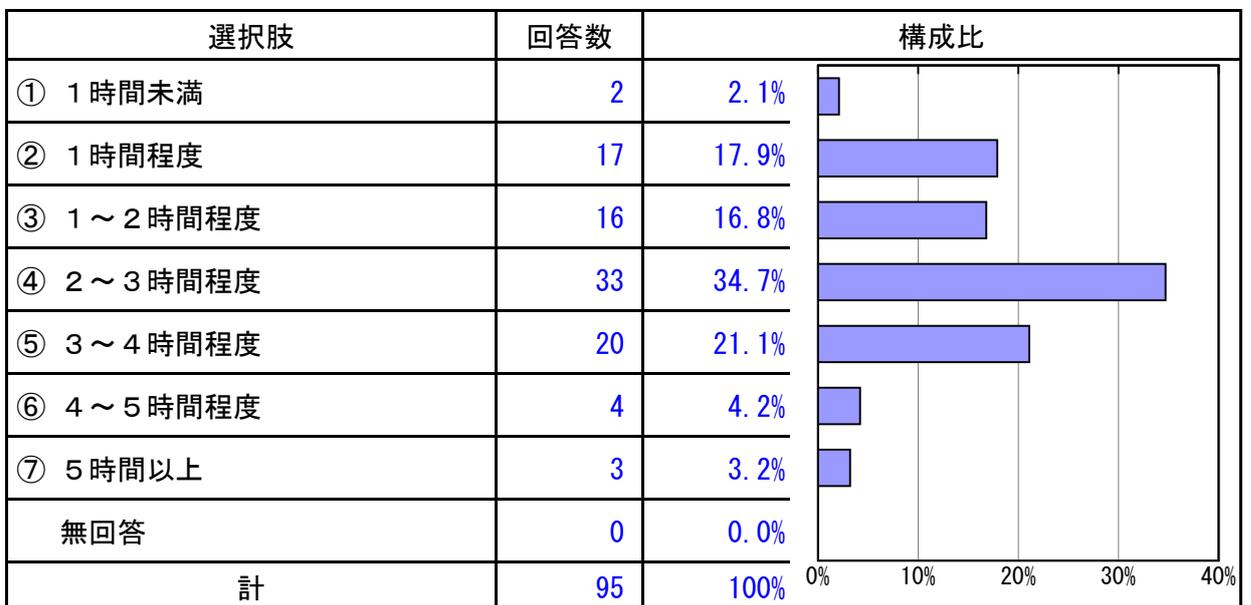
【問2で「①週3回以上」、「②週1～2回」、「③月2～3回」、「④月1回程度」と回答した方のみ回答】

問4 中心市街地に出かける主な目的を3つまで選んでください。



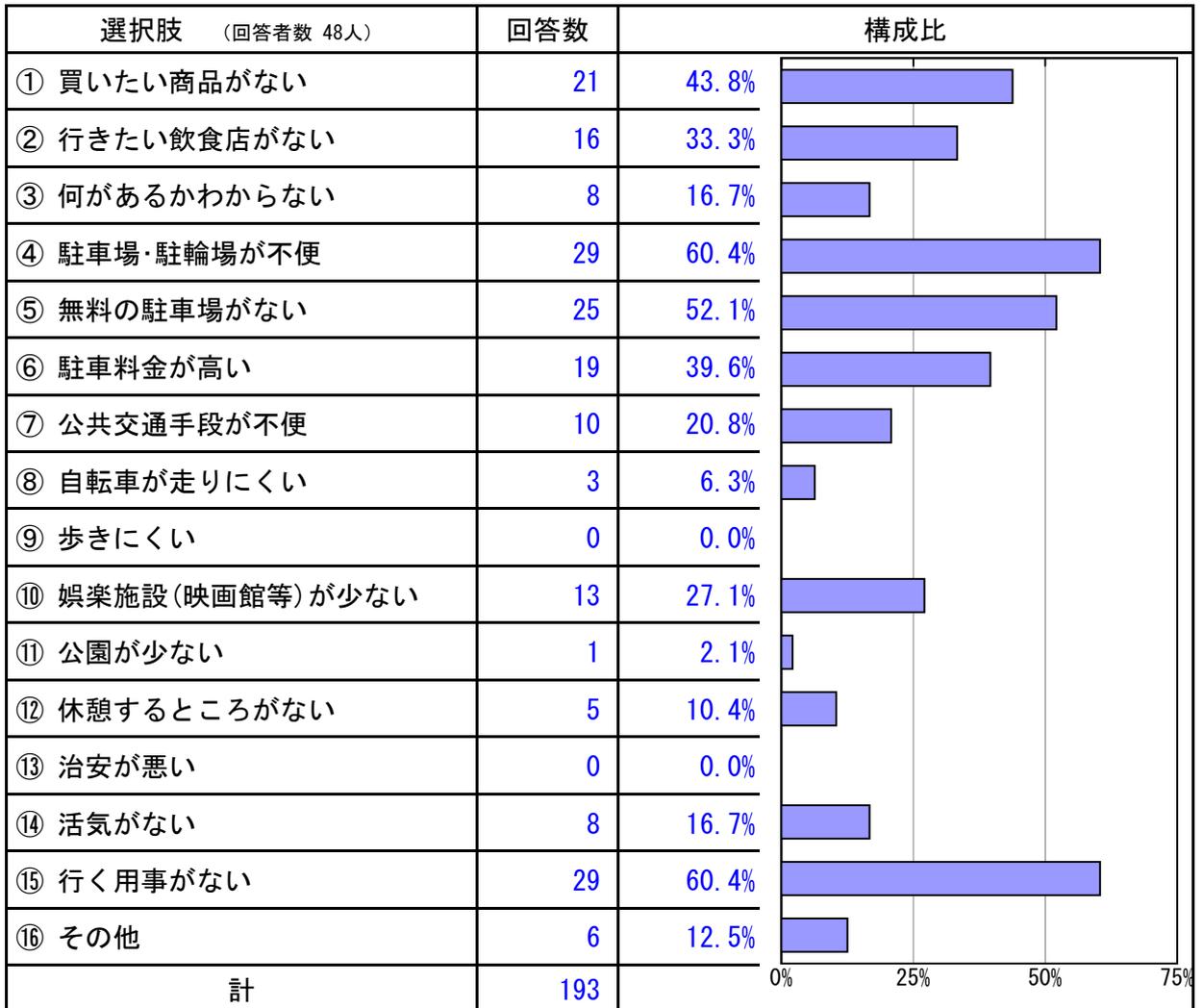
【問2で「①週3回以上」、「②週1～2回」、「③月2～3回」、「④月1回程度」と回答した方のみ回答】

問5 仕事以外で中心市街地に出かけた場合の平均的な滞在時間を1つだけ選んでください。



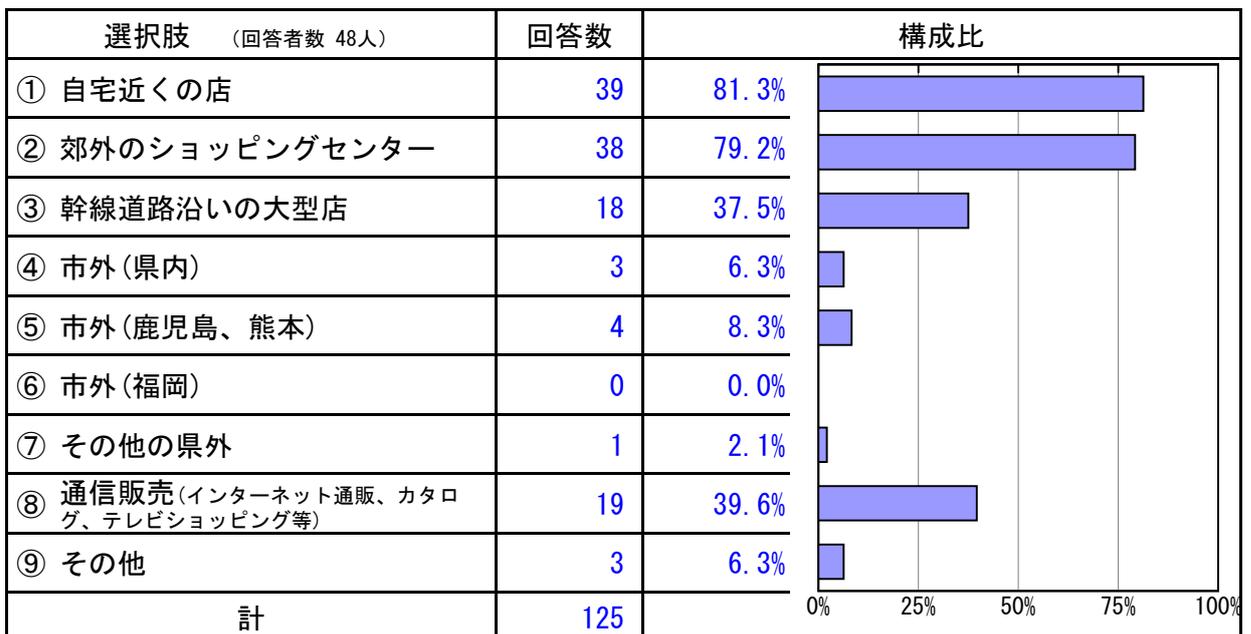
【問2で「⑤2～3か月に1回程度」、「⑥ほとんど行かない」と回答した方のみ回答】

問6 中心市街地に行かない理由について、あてはまるものすべて選んでください。

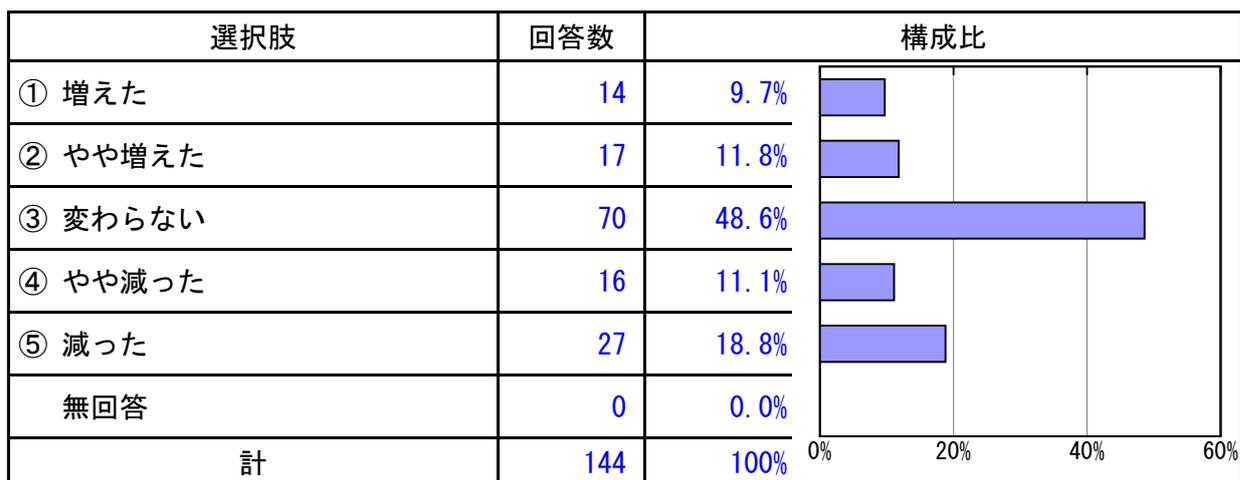


【問2で「⑤2～3か月に1回程度」、「⑥ほとんど行かない」と回答した方のみ回答】

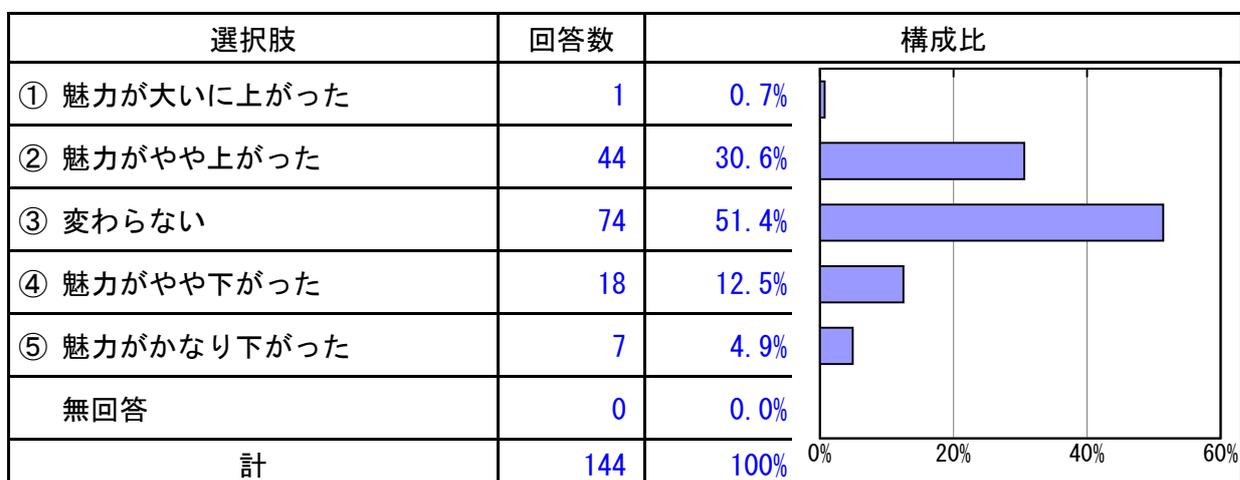
問7 (中心市街地以外で) 買い物や飲食をする場所について、3つまで選んでください。



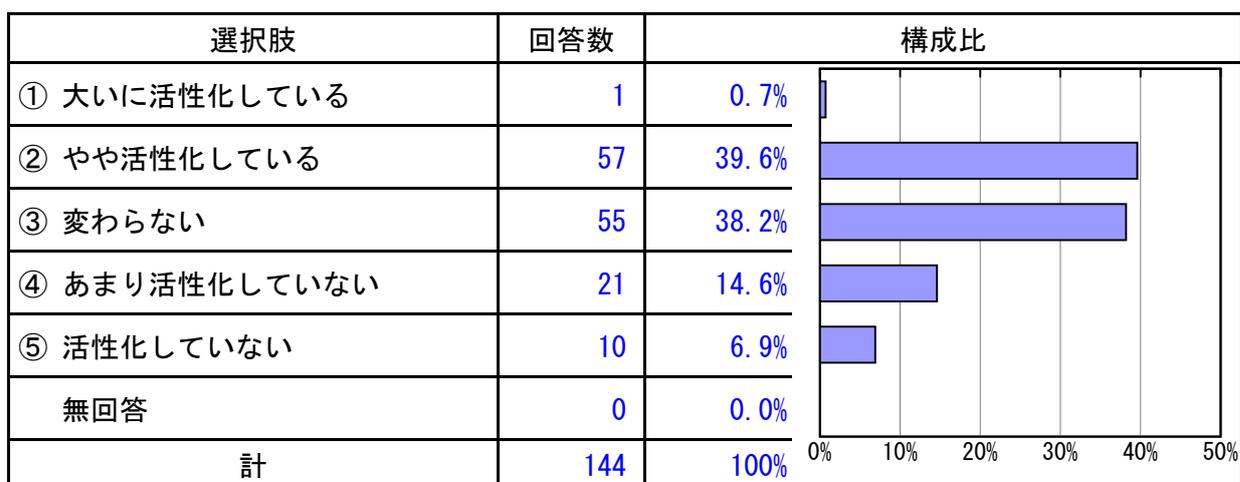
問8 5年前と比べて、中心市街地に出かける機会の変化について、あてはまるものを1つだけ選んでください。



問9 5年前と比べて、中心市街地の魅力はどう変化したかについて、あてはまるものを1つだけ選んでください。



問10 5年前と比べて、中心市街地は活性化していると思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。



問11 宮崎市では、雇用創出による中心市街地の活性化(“マチナカ3000”プロジェクト)を進めています。“マチナカ3000”プロジェクトについてご存知ですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
① 知っている	35	24.3%
② 知らない	109	75.7%
無回答	0	0.0%
計	144	100%

問12 下記の項目について、あなたが感じる現状の満足度を「思う」から「思わない」までの5段階でお答えください。

項目	現状の満足度					無回答
	高い		↔	低い		
	思う	やや思う	どちらともいえない	そんなに思わない	思わない	
1. クリエイティブ産業の集積と雇用の拡大						
① クリエイティブ産業等(ICT関連産業等)の企業誘致が進み、創業しやすい街	3	28	67	31	13	2
	2.1%	19.4%	46.5%	21.5%	9.0%	1.4%
② 産学官金等の多様な団体が連携して新しいビジネスが生まれたり、中小企業の事業引継ぎが円滑に行われている街	1	21	67	39	15	1
	0.7%	14.6%	46.5%	27.1%	10.4%	0.7%
③ ワーク・ライフ・バランスが普及し、人材の確保・定着や働きやすい環境が整備された街	1	26	70	34	11	2
	0.7%	18.1%	48.6%	23.6%	7.6%	1.4%
④ 保育環境の充実やテレワーク、短時間労働等の多様な働き方が進み女性の就労支援が進み、若者は地元企業への就職・定着やU・I・Jターンによる人材確保や人材育成の充実した街	3	19	65	40	15	2
	2.1%	13.2%	45.1%	27.8%	10.4%	1.4%
2. まちなか居住環境の充実						
⑤ 空き家や空き店舗等を活用して店舗やオフィスの集積、居住機能が充実した街	3	25	51	40	23	2
	2.1%	17.4%	35.4%	27.8%	16.0%	1.4%
⑥ 老朽化した民間建築物が集まる地区(文化マーケット地区や青空ショッピングセンター等)の対策が適切に進んでいる街	1	19	55	41	25	3
	0.7%	13.2%	38.2%	28.5%	17.4%	2.1%
⑦ 民間のマンションが建築されることで、まちなか居住が進んでいる街	9	65	36	23	9	2
	6.3%	45.1%	25.0%	16.0%	6.3%	1.4%
⑧ 魅力ある商業施設や商店街が集まり、商業機能が充実している街	2	27	47	45	22	1
	1.4%	18.8%	32.6%	31.3%	15.3%	0.7%
⑨ ごみのぼい捨てや路上喫煙防止に加え、子育て世代から高齢者まで多世代に優しい生活環境が整備されている街	19	56	39	18	10	2
	13.2%	38.9%	27.1%	12.5%	6.9%	1.4%
⑩ 宮崎らしい景観づくりが進むとともに、大規模火災や震災などに備えた防災・減災対策がとられた安全・安心な街	7	34	57	34	10	2
	4.9%	23.6%	39.6%	23.6%	6.9%	1.4%

項目	現状の満足度					無回答
	高い	↔			低い	
	思う	やや思う	どちらとも いえない	そんなに 思わない	思わない	
3. 憩い・交流する場の創出						
⑪ 魅力的なイベントが行われている街	6	54	47	23	10	4
	4.2%	37.5%	32.6%	16.0%	6.9%	2.8%
⑫ 道路や公園等を利用して、学生や若者を中心としたイベントなどが行われている街	2	33	66	29	12	2
	1.4%	22.9%	45.8%	20.1%	8.3%	1.4%
⑬ 子ども達がまちなかに関わる、学ぶ機会の多い街	0	18	61	44	17	4
	0.0%	12.5%	42.4%	30.6%	11.8%	2.8%
4. まちなかを訪れる楽しさの創出						
⑭ 地元産の素材を使用する地産地消の取組が進み、「食」等の魅力の向上により観光客が行きたくなる、観光客を案内したくなる街	4	38	58	31	11	2
	2.8%	26.4%	40.3%	21.5%	7.6%	1.4%
⑮ 「ニシタチ」を中心とした観光資源が活用されるとともに、快適に過ごせる繁華街環境が整備された街	6	45	51	29	11	2
	4.2%	31.3%	35.4%	20.1%	7.6%	1.4%
⑯ 公共交通等や自転車、シェアサイクル等の充実に加え、歩きたくなるまちなか環境が充実することで、円滑かつ快適に移動できる街	3	44	54	30	10	3
	2.1%	30.6%	37.5%	20.8%	6.9%	2.1%
⑰ 駐車場や駐輪場が、適切な場所に適切な台数確保された利便性の高い街	0	27	50	42	23	2
	0.0%	18.8%	34.7%	29.2%	16.0%	1.4%
⑱ 高齢社会の進展に対応したバリアフリーへの配慮やわかりやすい案内の整備された街	2	14	54	48	24	2
	1.4%	9.7%	37.5%	33.3%	16.7%	1.4%

問13 下記の18項目の対策のうち、今後特に重要であると考える項目を5つまで選んでください。

選択肢 (回答者数 147人)	回答数	構成比
① クリエイティブ産業等(ICT関連産業等)の企業誘致対策や創業しやすい対策	23	16.0%
② 産学官金等の多様な団体が連携して新しいビジネスを生み出す対策や、中小企業の事業引継ぎが円滑に行われる対策	16	11.1%
③ ワーク・ライフ・バランスを普及させる対策や、人材の確保・定着や働きやすい環境を整備する対策	38	26.4%
④ 保育環境の充実やテレワーク、短時間労働等の多様な働き方が進み女性の就労支援を進める対策や、若者の地元企業への就職・定着対策、UIJターンによる人材確保や人材育成を充実させる対策	52	36.1%
⑤ 空き家や空き店舗等を活用して店舗やオフィスの集積、居住機能を充実させる対策	70	48.6%
⑥ 老朽化した民間建築物が集まる地区(文化マーケット地区や青空ショッピングセンター等)の対策	36	25.0%
⑦ 民間のマンション等の建築を進め、まちなか居住を誘導する対策	12	8.3%
⑧ 魅力ある商業施設や商店街が集まり、商業機能を充実させる対策	61	42.4%
⑨ ごみのぼい捨てや路上喫煙防止に加え、子育て世代から高齢者まで多世代に優しい生活環境を整備する対策	37	25.7%
⑩ 宮崎らしい景観づくりや、大規模火災や震災などに備えた防災・減災対策	59	41.0%
⑪ 魅力的なイベントを増やす対策	41	28.5%
⑫ 道路や公園等を利用して、学生や若者を中心としたイベントなどを行える対策	22	15.3%
⑬ 子ども達がまちなかに関わる、学ぶ機会を増やす対策	40	27.8%
⑭ 地元産の素材を使用する地産地消の取組や、「食」等の魅力の向上に向けた対策	43	29.9%
⑮ 「ニシタチ」を中心とした魅力向上と、快適に過ごせる繁華街環境に向けた対策	14	9.7%
⑯ 宮崎駅周辺の再開発が予定されている中で、公共交通の充実や、まちの回遊性を向上させるための新たな取組、歩きたくなるまちなか環境の充実などの利便性の高いまちづくりに向けた対策	67	46.5%
⑰ 駐車場や駐輪場を、適切な場所に適切な台数確保する対策	48	33.3%
⑱ 高齢社会の進展に対応したバリアフリーへの配慮やわかりやすい案内を整備する対策	23	16.0%
計	702	0% 10% 20% 30% 40% 50%

問14 中心市街地の活性化に関する事業の認知度について、あてはまるものを選んでください。

項目	知っている		知らない	無回答
		参加・利用・見たことがある		
① 買物などのために車で来やすくするために、お客様がどこの駐車場に止めても同じような割引が受けられるよう、共通駐車券の仕組みがあります。	82	43	58	4
	56.9%	29.9%	40.3%	2.8%
② 楽しい街・にぎわいのある街になるよう、橋通りや高千穂通りを歩行者天国にした音楽祭やまつりが開催されています。	134	56	8	2
	93.1%	38.9%	5.6%	1.4%
③ 文化的な潤いのある街になるよう、絵画などをお店のショーウィンドウに展示（まちかどギャラリー）したり、市街地の公共空間に彫刻を設置（パブリックアート）したりしています。	81	32	60	3
	56.3%	22.2%	41.7%	2.1%
④ きれいな街並みをつくるため、市民ボランティアが橋通りなどの花壇に定期的に花を植えています。	131	40	10	3
	91.0%	27.8%	6.9%	2.1%
⑤ ごみのない美しい街にするため、市では、橋通り・一番街・若草通をごみのポイ捨てや歩行喫煙の禁止区域にしています。	101	27	39	4
	70.1%	18.8%	27.1%	2.8%
⑥ 中心市街地の駐車場不足を解消し、来街しやすい環境にするため、官民共同による大型立体駐車場「Y・Y PARK」を整備しました。	111	52	31	2
	77.1%	36.1%	21.5%	1.4%
⑦ 文化芸術の創造体験や鑑賞・発表を行う機会と、中心市街地での交流の場を提供するため、「みやざきアートセンター」を整備しました。	129	57	12	3
	89.6%	39.6%	8.3%	2.1%
⑧ 魅力ある商店街とするため、宮崎駅前商店街の電線地中化やカラー舗装を行い、街路灯やベンチを備えたコミュニティ道路「あみーろど」として再整備しました。	116	47	26	2
	80.6%	32.6%	18.1%	1.4%
⑨ 宮崎駅周辺のにぎわい創出や交通利便性の向上のため、駅の西口に、飲食店や企業、ホテルなどが入る複合施設「KITEN」や、バスターミナル、立体駐車場などを官民連携で整備しました。	127	56	14	3
	88.2%	38.9%	9.7%	2.1%
⑩ 宮崎のまちなかににぎわい創出のため、毎月第4土曜日に一番街と若草通で「街市」を開催しています。	87	33	53	4
	60.4%	22.9%	36.8%	2.8%
⑪ 宮崎のまちなかににぎわい創出のため、まちなかの様々な情報を発信する「よってンプラザ」が若草通にあります。	82	22	58	4
	56.9%	15.3%	40.3%	2.8%
⑫ 宮崎での創業を支援するため、橋通東4丁目に創業支援施設として「みやざき創業サポート室(愛称：みやざき STARTUP HUB)」を設置しています。	29	7	112	3
	20.1%	4.9%	77.8%	2.1%
⑬ 若者の地元定着やUIJターンを推進するためのスマートフォンアプリ「20do」(にじゅうど)を作成し、宮崎の魅力あるワーク・ライフの発信やプロモーション事業を展開しています。	24	8	116	4
	16.7%	5.6%	80.6%	2.8%
⑭ 道路空間や公園等を活用したイベント等の開催を支援することで、イベントを通じて若者や多様な世代が集まる「場」をつくる取組を進めています。(まちなか公共空間活用支援事業)	29	11	112	3
	20.1%	7.6%	77.8%	2.1%
⑮ 2020年秋のアミュプラザ宮崎開業に向けた中心市街地の回遊性向上のため、電動低速バス(グリーンスローモビリティ)の実証調査を行いました。(グリーンスローモビリティ実証調査実施事業)	125	17	16	3
	86.8%	11.8%	11.1%	2.1%

問15 中心市街地のまちづくりについて、自由な意見をお書きください。

(主な意見)

- ・ 宮崎駅を中心に東西方向に活性化させ再開発を進めるのが良いと思う。マンションを誘致し、街の生活人口を増やす必要がある。
- ・ ①道路はごみ等がほとんどなく花壇には花が咲き清潔な印象②数箇所自転車が無造作に駐輪されている③空き店舗&休業中の店舗があると街の活性化が半減してしまうので、郷土の味や造形を取り入れた宮崎ならではのカフェ等があると街をもっと散策してみようという気になるのではないかと(観光客も増加する)④街に買い物のイメージが強いので、催し物等で心を豊かにする街への取組みをしてはどうかと考える。
- ・ 多くの人のアンテナは高くない。そのような人々に中心市街地のことや利点を知ってもらうためには情報発信が必要である。自動運転のバス(無料)の取組みは良いと思う。もっと情報発信して欲しい。
- ・ 宮崎は車社会。地域によっては公共交通バス路線や本数が不十分のため公共交通を充実できないのであれば、中心部への車で行きやすいよう無料駐車場をたくさん整備して人が訪れるようにすべき。人が集まらなければ、どのような取組みをしても意味がない。公共交通も今以上に充実させて、中心部に人が訪れやすくなる環境整備が必要。
- ・ 街の中心部に若者が集う公園を整備して欲しい。例えば既存の公園を魅力ある公園にしたり、不要な土地を買い取り中心地に公園をつくる。色々なイベントを行って欲しい。
- ・ 高齢者にとって中心市街地まで出かけるのは困難な問題の一つ。大塚台は市一番の高齢化地域で、子どもの数より高齢者が目に付く。市周辺の地域から中心市街地でイベントのある日に定期的にバスを運行して子どもからお年寄りまでが安全で安心して中心市街地で楽しく元気で過ごせる時間が持てたら良いと思う。
- ・ 橋通りを歩行者天国にするイベントをできるだけ多くする。最終的には橋通りをバス、緊急車両、自転車のみを通すこととし、問題点を検討して実現を図る。
- ・ 月に一回橋通りや高千穂通りを歩行者天国にして欲しい。
- ・ 山形屋前から橋通りを車椅子を押した。所々段があり、通路がガタガタしたので、車椅子でどこでも移動できる街になると良い。中心市街地では車やバイクを留める場所に悩む。グリスロは車椅子でも利用できるようにして欲しい。
- ・ 宮崎駅周辺の発展に期待。公共交通機関の利用等様々なことに挑戦したい。電動低速バスは期待している。
- ・ 電動低速バスのアイデアは良い。無料化すると良い。海外や県外の人に良いイメージを与えたいと思う。
- ・ 電動低速バスはルート再検討すべき。橋通りまで周遊する方が良い。福岡天神の100円バスのように。
- ・ アミュプラザに期待。まちなかに若者が多く歩く姿を見たい。グリスロはデザインをもっとかわいく。
- ・ ボンベルタがドンキホーテになるので若者が増えると思う。100円でも買い物をしたら駐車料金2時間無料くらいにして欲しい。(宮崎は車社会)
- ・ 駐車スペースの増加、魅力ある店が集まれば人が増えるのではないかと。
- ・ 駐車場が有料のため時間を気にして利用してしまう。子育てイベント等も増やして欲しい。
- ・ 公園が汚くトイレが利用しづらい。グリスロは良い。自転車や車が多く子どもとお店を利用しづらい。駐車料金が高い。
- ・ 以前都比べて道路や建物がキレイになった。車の場合は時間を気にしなければならないので駐車時間の延長や使った金額で検討してもらいたい。バイクの駐車場も考慮してほしい。
- ・ 駐車場代が気になり心からゆっくり過ごせない。グリスロはなぜやめたのか。継続して欲しい。
- ・ 年々活性化はしていると思うが、駐車場の問題(急いでいるとき料金の安いところが空いていない、留めにくい等)があり、バスは本数が少ないのでほぼ行かなくなる。足を運ぶことで活性化につながればと思うが、郊外に住むものとして利便性を優先に考えて生活している
- ・ 本市の縦横に鉄道(路面電車)を整備するなど、時間に正確な交通機関を整備し、その周りをバスやタクシーでカバーする都市型の構造を構築すべき。
- ・ 中心市街地を活性化させても、駐車場問題、公共交通問題を解決しないと意味がない。団地方面のバスを最低1時間に4本以上運行すれば中心市街地を回遊すると思う。

「文化振興」に関するアンケート 集計結果

◆調査の目的

今年開催予定の国文祭・芸文祭に向けた機運醸成のため、文化を身近に感じられるワークショップ等に取り組んでいる。それらの事業効果を計るとともに、今後の本市における文化芸術振興事業を展開するための参考資料とする。また、文化芸術活動を行う上で課題として活動資金の確保がある。その解決手段の一つ、寄附文化の醸成を図るための手段を検討する資料とするものである。

◆調査の概要

- | | |
|-----------|-----------------------------------|
| (1) 調査期間 | 令和2年1月31日 ~ 令和2年2月17日 ※終了後も一定期間回収 |
| (2) モニター数 | 163人 |
| (3) 回答者数 | 144人 (回答率88.34%) |
| (4) 担当課 | 地域振興部 文化・市民活動課 |

◆調査結果考察

1. 文化芸術の鑑賞と活動の状況について

約80%の方が文化芸術の鑑賞を行っているものの、活動されている方は35%である。活動をしていない理由として、時間的な余裕がないが50%を超えており、活動へつなげるためには、時間的負担を軽減することが課題である。

2. 現在の宮崎市(行政)の文化芸術に関する取り組みについて

宮崎市の取り組んでいる事業は認知度が50%に満たないものが多く、情報発信の強化が必要である。また、取り組みに関する満足度についても、満足・やや満足との回答が約50%にとどまっており、満足度を高める必要がある。

3. 寄付について

文化芸術への寄付をしやすくする方法についての回答は、寄付に関する基礎的情報(寄付先、方法)の提供が約48%、優遇措置の拡充と寄附先の活動状況等の情報提供が約40%となっている。このことから、寄付を促進するためには、寄付に関する情報や寄付先の情報など、情報提供を行うことが有効である。

4. 今後、宮崎市(行政)の文化芸術に関する取り組みに期待すること

力を入れて欲しい分野としては音楽、文化財、演劇の順番で多くなっている。また、小中学生が文化芸術に親しめる機会の提供、文化施設サービスの充実や情報発信について力を入れて欲しいという回答が多く、イベントの開催については、鑑賞型のイベントを望む方が約48%となっている。これらの意見を参考に、さらに市民の方が文化芸術に親しめるよう、今後の事業展開を検討する。

1. 文化芸術の鑑賞と活動について、おうかがいします。

問1 この1年に文化芸術を鑑賞(演奏会や作品展等の鑑賞やワークショップへの参加。ただし、自宅での鑑賞は含まない。)しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 音楽(ポップス、歌謡曲、クラシック、ジャズ、民謡、童謡など)	46	31.9%
2 演劇(演劇、ミュージカル、人形劇など)	24	16.7%
3 舞踊(バレエ、ダンス、舞踊、日本舞踊など)	14	9.7%
4 演芸(落語、漫才、大道芸など)	6	4.2%
5 伝統芸能(歌舞伎、能、狂言、舞など)	6	4.2%
6 美術(絵画、彫刻、写真、書道など)	55	38.2%
7 生活文化(お茶、生け花、手芸、囲碁、将棋、盆栽・園芸など)	22	15.3%
8 映画	62	43.1%
9 メディア芸術(映画を除く漫画、アニメーション、ゲームなど)	3	2.1%
10 文芸(短歌、俳句、詩、小説など)	13	9.0%
11 文化財(有形文化財、史跡、天然記念物、無形文化財など)	31	21.5%
12 鑑賞していない	35	24.3%
13 その他	1	0.7%
計	318	221%

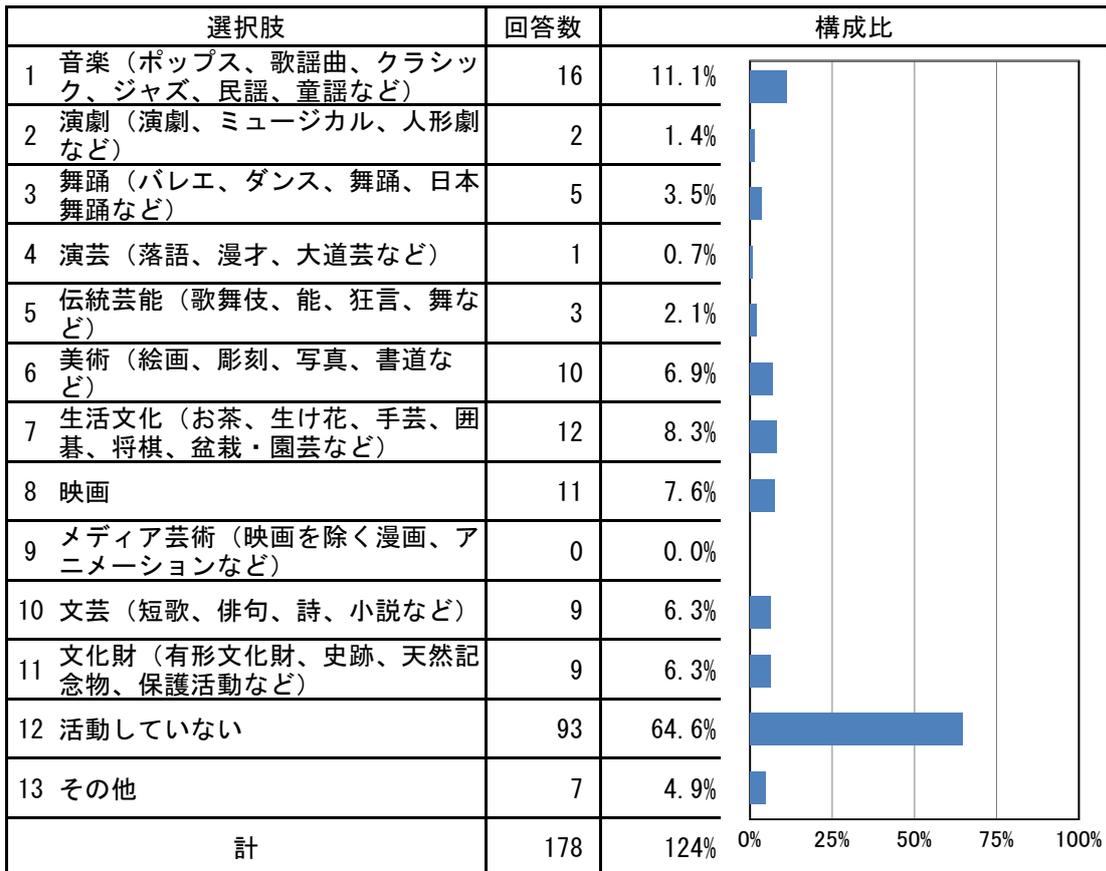
○その他意見
・興味がない

問2 この1年に文化芸術を鑑賞されなかった方にお尋ねします。鑑賞していないのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 時間的余裕がない	19	54.3%
2 経済的余裕がない	9	25.7%
3 宮崎市内で鑑賞したいと思う催し物をやっていない	11	31.4%
4 宮崎市内で行われている催し物の開催状況がわからない、情報が手に入らない	7	20.0%
5 一緒に鑑賞する仲間がいない	2	5.7%
6 催し物が行われる場所へのアクセスが悪い	2	5.7%
7 興味がない	7	20.0%
8 その他	4	11.4%
計	61	174%

○その他意見
・日程、時間が合わない
・催し物会場への交通手段に頭を使う
・駐車場から催し物を行っている所までが遠い など

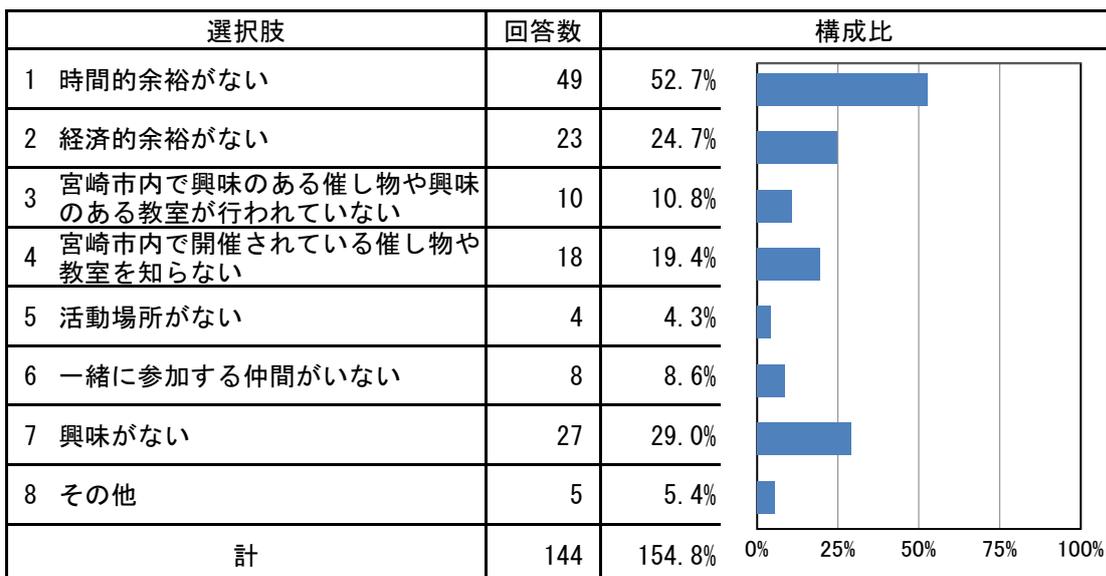
問3 この1年に文化芸術の活動(演奏会への出演や作品展への出品、習い事やボランティアの参加)を行いましたか。あてはまるものをすべて選んでください。



○その他意見

- ・公民館講座
- ・習い事(料理教室)
- ・ボランティア(近くの小学校へのよみきかせや、卒業、進級時のお手伝い) など

問4 この1年に文化芸術の活動をされなかった方にお尋ねします。活動されなかったのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選んでください。



○その他意見

- ・以前は公民館講座を利用しましたが忙しくいけませんでした
- ・鑑賞することは好きだが、活動はしたくない
- ・行きたくても交通が不便(バス1日1本位です)

問5 市民が文化芸術を鑑賞・活動することは重要だと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 重要である	70	49.3%
2 やや重要である	51	35.9%
3 あまり重要でない	11	7.7%
4 重要でない	1	0.7%
5 わからない	9	6.3%
計	142	98.6%

2. 情報収集、SNSの利用状況について、おうかがいします。

問6 宮崎市(行政)の情報発信の方法で不足していると思うものは何ですか。あてはまるものを、3つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 テレビ	98	69.0%
2 ラジオ	36	25.4%
3 新聞	54	38.0%
4 雑誌・専門誌	28	19.7%
5 チラシ・ポスター	40	28.2%
6 SNS※	27	19.0%
7 ホームページ	28	19.7%
8 その他	16	11.3%
計	327	227.1%

※SNSとはソーシャルネットワーキングサービスの略称で、Facebook(フェイスブック)、Instagram(インスタグラム)などの登録された利用者同士が交流できるウェブサイトの会員制サービスのこと

○その他意見

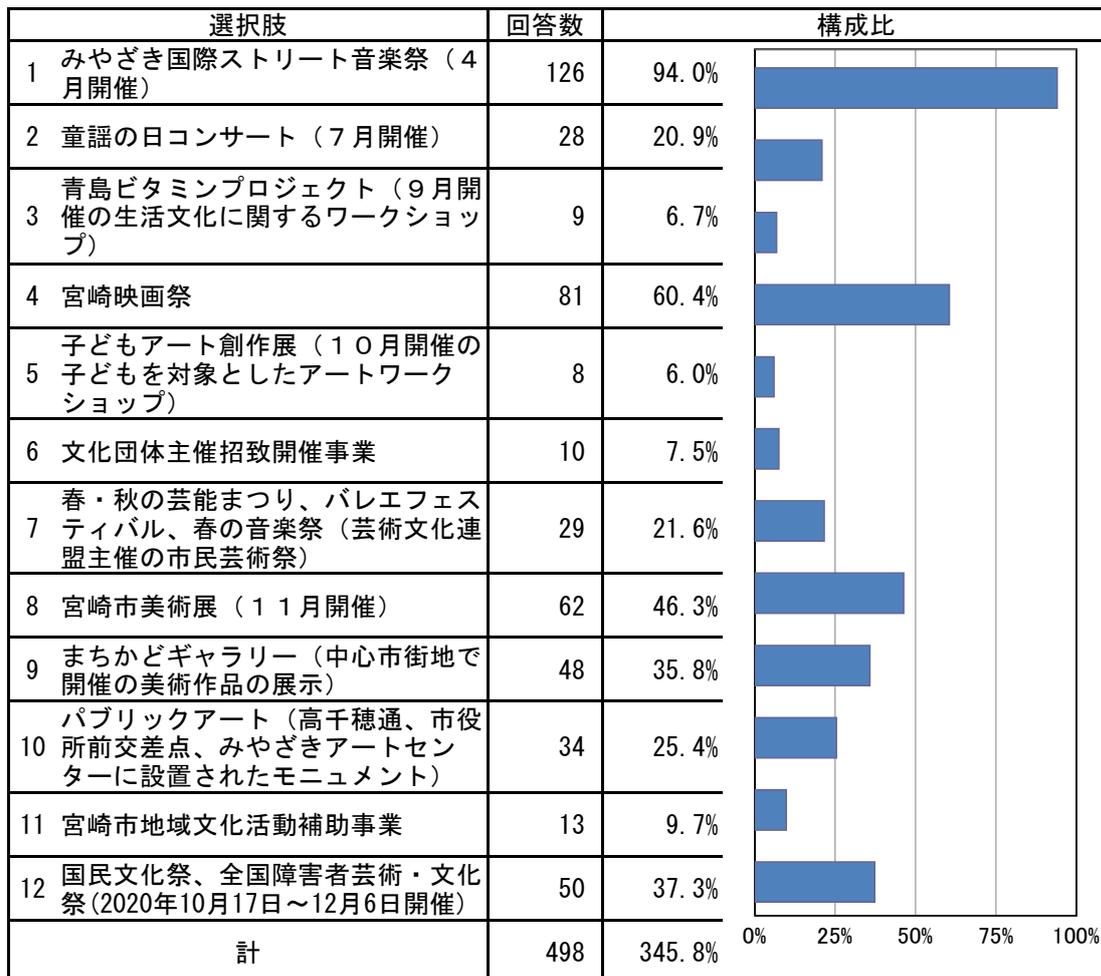
- ・市、県情報誌
- ・自治会を通じたの回覧板
- ・不足しているとは思わない。見ていないだけ。 など

問7 様々な情報収集のために日常的に利用しているSNSは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

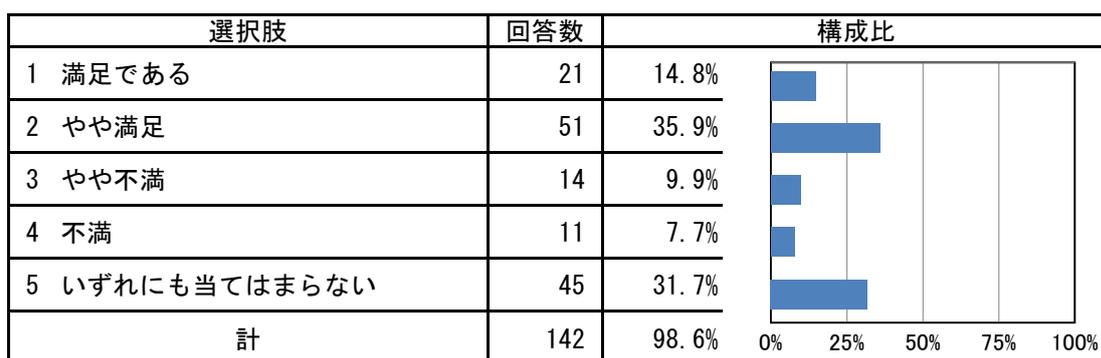
選択肢	回答数	構成比
1 Twitter (ツイッター)	28	19.7%
2 Facebook (フェイスブック)	38	26.8%
3 Instagram (インスタグラム)	26	18.3%
4 LINE (ライン)	93	65.5%
5 YouTube (ユーチューブ)	58	40.8%
6 mixi (ミクシィ)	1	0.7%
7 Google+ (グーグルプラス)	23	16.2%
8 利用していない	26	18.3%
9 その他	0	0.0%
計	293	203%

3. 宮崎市の文化芸術に関する取組み等について、おうかがいします。

問8 宮崎市(行政)の文化芸術に関する取組みについて、知っているものを、**すべて**選んでください。



問9 宮崎市(行政)が行っている文化芸術に関する取組み全般に対して満足していますか。あてはまるものを**1つ**選んでください。



問10 宮崎市(行政)では、問8の事業の一部の経費に文化振興基金を当てていますが、文化振興基金という基金があることを知っていますか。あてはまるものを**1つ**選んでください。



問11 文化振興基金の財源は、寄付金により支えられている側面がありますが、この1年間にチケット代金以外の文化芸術振興に関わる寄付をしたことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 したことがある	6	4.2%
2 したことはないが、今後はしてみたい	42	29.6%
3 したことはないが、今後もしたいとは思わない	42	29.6%
4 わからない	52	36.6%
計	142	98.6%

問12 どうすれば文化芸術への寄付がしやすくなる、もしくは寄付してもいいと思えるようになると思いますか。あてはまるものを3つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 寄付に関する基礎的な情報（寄付先、寄付の方法、特典など）が提供されること	68	47.9%
2 寄付に対する控除など、納税の際の優遇措置が拡充されること	58	40.8%
3 寄付先（文化芸術団体など）の活動状況や財政状況が積極的に公開されること	55	38.7%
4 インターネット上での決済やクラウドファンディングなど、寄付の方法が簡易になること	40	28.2%
5 寄付金が使われる分野・内容を指定できるようにすること	40	28.2%
6 寄付先から提供される特典が充実すること	44	31.0%
7 寄付者一覧が広報誌やプログラムに掲載されるなど、寄付者に対する謝意の表し方を充実させること	13	9.2%
8 特にない、わからない	22	15.5%
9 その他	8	5.6%
計	348	242%

○その他意見

- ・寄付したいと思うような魅力的な活動内容であること。
- ・多数参加するイベントで、募金箱を置く。
- ・ふるさと納税制度等にもっと力を入れて資金を潤沢にし、そこから一定の資金を文化芸術活動に導入するような仕組みが出来ないか。

問13 宮崎市(行政)の文化芸術に関する取組みとして、特に力を入れてほしい分野は何ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 音楽（ポップス、歌謡曲、クラシック、ジャズ、民謡、童謡など）	40	28.2%
2 演劇（演劇、ミュージカル、人形劇など）	21	14.8%
3 舞踊（バレエ、ダンス、舞踊、日本舞踊など）	2	1.4%
4 演芸（落語、漫才、大道芸など）	7	4.9%
5 伝統芸能（歌舞伎、能、狂言、舞など）	7	4.9%
6 美術（絵画、彫刻、写真、書道など）	10	7.0%
7 生活文化（お茶、生け花、手芸、食文化、盆栽・園芸など）	7	4.9%
8 映画	9	6.3%
9 メディア芸術（映画を除く漫画、アニメーション、ゲームなど）	5	3.5%
10 文芸（短歌、俳句、詩、小説など）	3	2.1%
11 文化財（有形文化財、史跡、天然記念物、無形文化財など）	26	18.3%
12 特にない、わからない	22	15.5%
13 その他	7	4.9%
計	166	115.3%

○その他意見

- ・魅力的なまちづくり（街並、景観、体験など）。もっと宮崎らしさを追求してほしい。
- ・小学校、中学、大学、専門学校でも、文化芸術の機会を大切にしてほしい。
- ・取組みは多いが未完成。誇れるものは何か。

問14 現在、宮崎市では若い世代へのアプローチや文化情報発信の充実などの課題解決に取り組んでいるところですが、宮崎市(行政)の文化芸術に関する取組みとして特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。あてはまるものを2つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 未就学児（0歳～小学校入学前）が文化芸術に親しめる機会の提供	22	15.4%
2 子ども（小学校～中学校）が文化芸術に親しめる機会の提供	68	47.6%
3 若者（中学校卒業～30歳未満）が文化芸術に親しめる機会の提供	31	21.7%
4 市民に向けた文化芸術事業の情報発信	46	32.2%
5 文化施設サービスの充実	47	32.9%
6 文化芸術の担い手（指導者や後継者）の育成	35	24.5%
7 特にない、わからない	12	8.4%
8 その他	3	2.1%
計	264	183.3%

○その他意見

- ・宮崎らしい文化的で芸術的なまちづくり
- ・行事が中心部に集中している

問15 宮崎市(行政)の文化芸術の取組みとしてどのような形式のイベントを開催してほしいですか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 音楽や美術等の文化芸術の鑑賞型イベント	68	47.2%
2 音楽や美術等の文化芸術を体験できるワークショップ型イベント	34	23.6%
3 音楽や美術等の文化芸術の知識を深める公演会や勉強会	21	14.6%
4 音楽や美術等の文化芸術の発表会・展示会	13	9.0%
5 特にない、わからない	12	8.3%
6 その他	1	0.7%
計	149	103.5%

○その他意見

- ・児童、生徒、学生が行う文化芸術活動への支援

4. 最後に、おうかがいします。

問16 宮崎市(行政)が行う文化芸術への取組み全般について、ご意見やご提案などがあれば、自由にご記入ください。

○主な意見

- ・宮崎では特にこれといった文化芸術が必要であると思う。
- ・周知徹底がされていないと思う。新聞、チラシ、テレビ等色々な広告活動が必要。
- ・もっと宮崎市の伝統芸能を継承させるような取組みをして欲しい。
- ・市民参加型の文化・芸術をもっと企画して欲しい。
- ・子供のイベントと同時開催（子供は子供で楽しめる）あれば良いように思う。
- ・実際に行われている場所へのアクセスが不便。気楽に行ける環境づくりが必要だと思う。
- ・幅広い年齢層が興味を持てるコンサートや演劇の開催を行政が中心となり開催してほしい。
- ・障がい者の方がスムーズに鑑賞や参加ができる環境を整えてほしい。
- ・もっと身近で、もっと自分から楽しめるような企画づくりができればいいと思う。
- ・現在の取組み自体は非常に有意義なものである。今後も継続してほしい。

「市政広報」についてのアンケート調査 集計結果

◆ 調査の目的

宮崎市では、広報紙やテレビ、ラジオ、SNS、そして報道機関への情報提供などを活用して、効率的かつ的確な広報活動に取り組んでいます。今回の市政モニターアンケートを行うことによって、より良い市政広報を行うための基礎資料とし、今後の活動の改善などを行います。

◆ 調査の概要

- (1) 調査期間 令和2年1月31日～2月17日 ※終了後も一定期間回収
 (2) モニター数 163名
 (3) 回答者数 144名 (回答率 88.34%)
 (4) 担当課 企画財政部 秘書課 広報広聴室

◆ 調査結果の考察

【問1】

市政情報の入手方法については、広報紙や新聞広報、テレビ・新聞報道が多く、過去の調査結果と比較しても傾向に変化はなかった。

また、構成比としてはまだまだ少ないが、市ホームページやSNSから入手するという回答数が前回調査と比較して増加した。総務省の「令和元年度情報通信白書」においても、SNSを利用する人の割合が80歳以上を除く各年齢層で上昇しているとの説明があることから、情報発信の手段としてSNSの重要性は今後さらに増していくものと推測される。

【問2～4】

広報紙の中身をどの程度読むかという質問に対しては、「ほとんど読む」と「興味のある記事だけ読む」がそれぞれ半数に分かれた。その中で、興味がある記事は「特集記事」やイベント情報が多く、興味のない記事は突出して構成比の高いものはなかった。広報紙の中身については概ね現在の内容を継続して問題ないという結果になったが、今後も同様の調査をしながら、市民が興味を持たれる内容かチェックを行っていく必要がある。

【問5】

広報紙を読んでイベントに参加したことがあるという回答が50%を超えており、一定の効果があったものと思われる。その一方で、担当課に相談・問い合わせをしたことがあるという回答は約15%と低い傾向であった。これは前回の調査結果とほぼ同じ傾向である。要因については本調査で分析することが困難だったため、今後も同様の傾向が続くようであれば、要因を分析するために調査方法を工夫する必要がある。

【問6～12】

現在の広報紙の文字の大きさ、言葉遣いの分かりやすさ、読みやすさ、理解のしやすさについては、不満や否定的な意見はあまり見られなかった。ただ少数ではあるが、分かりにくさ、読みにくさを指摘する意見もあることから、今後も調査をしながら、先述の項目に対する不満がないかチェックを行い、質の維持を図っていききたい。また、表紙のデザインについては、前回調査と同じく、特集記事に関連したものをイメージして作成したほうがよいという回答が多い。

【問13～15】

問1で市政情報の入手方法として9割以上の方が選択した広報紙だが、その入手方法については、自治会を通じての配布が7割を超える結果となった。また、全戸配布の必要性については、7割近くの方が全戸配布にこだわらないとの回答であった。ただ、自治会以外で広報紙を入手するという回答が少ない状況を見ると、自治会未加入者に対してどのように広報紙を手にとってもらえるか検討する必要がある。

また、インターネットや情報通信ネットワークの進展、スマートフォンやタブレット端末の普及する現代で、広報紙だけに頼らず情報を届ける効果的な方法を検討していく必要もある。

【問17～18】

データ放送については、前回の調査結果と比較して、若干ではあるが「利用したことがある」という回答の構成比が増加した。どの項目で利用したかの質問に対して、「緊急情報」で利用した方が増加していることが分かった。ただ、依然として6割近くの方が「利用したことがない」と回答しており、運用方法については、今後も検討が必要だと思われる。

【問19】

SNSの利用については、前回の調査結果と比較して、「利用をしている」と回答した方の構成比が大きく増加した(約47%から約65%に増加)。問1の考察でもSNSにより市政情報を入手する方の構成比が増えている傾向について触れたが、情報発信の手段としてSNSの重要性は今後さらに増していくものと推測される。

【問20～22】

利用しているSNSについては、前回の調査結果と比較して、LINEの割合が増加したが、それ以外のSNSの割合については大きな変化はなかった。SNSの利用頻度については今回の調査で初めて質問したが、回答数が少なく傾向を導き出すのは困難であった。

また、SNSで欲しい情報については、前回の調査結果と同じく、「災害や避難などに関する緊急的な情報」「イベント情報」の構成比が高かった。実際に台風や地震などの災害時の情報をSNSで発信すると、通常よりも反応が大きい傾向にあるため、SNSの特性である情報の即時性、拡散性を活かした効果的な情報発信に活用していきたい。

◆ 調査結果のまとめ

市政情報の入手方法として一番割合の高い「広報紙」については、本調査の結果を踏まえ、内容や配布方法のさらなる改善を図っていく。

また、市ホームページやSNSなどについては、今後も利用者が増えていくことが想定され、市政情報の発信手段として有効な活用を検討していく必要がある。

最後に、他の広報媒体についても、その特性や対象者を把握し、情報の内容、届けたい市民の属性等を考慮し、どの広報媒体を利用して広報するのが最適かを考えながら、広報活動に活用していく。

◎ 調査結果

集計結果の数値(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の比率の合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の設問は、比率の合計が100%を超える。

1. 「市政情報の入手方法」について、おうかがいします。

問1 日ごろから市政に関する情報やお知らせなどは、どのような手法で入手していますか(テレビ・ラジオ・新聞による報道を含みます)。あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 市広報みやざき(広報紙)	134	93.1%
2 市政新聞広報(宮崎市政からのお知らせ)	83	57.6%
3 市ホームページ	45	31.3%
4 市政ラジオ	33	22.9%
5 フェイスブック(SNS)	12	8.3%
6 ツイッター(SNS)	8	5.6%
7 ライン(SNS)	16	11.1%
8 インスタグラム(SNS)	3	2.1%
9 ユーチューブ(SNS)	9	6.3%
10 デジタルTVデータ放送(MRT)	18	12.5%
11 新聞記事(報道)	62	43.1%
12 テレビのニュース(報道)	85	59.0%
13 ラジオのニュース(報道)	40	27.8%
14 その他	4	2.8%
計	552	-

■「その他」の主なもの

・回覧板(自治会便による市からのお知らせ)

<参考> 前回調査との比較

	回答数			構成比		
	前回	今回	増減	前回	今回	増減
市広報みやざき(広報紙)	138	134	▲ 4	93.9%	93.1%	-0.8%
市政新聞広報(宮崎市政からのお知らせ)	49	83	34	33.3%	57.6%	24.3%
市ホームページ	25	45	20	17.0%	31.3%	14.2%
市政ラジオ	24	33	9	16.3%	22.9%	6.6%
フェイスブック(SNS)	6	12	6	4.1%	8.3%	4.3%
ツイッター(SNS)	1	8	7	0.7%	5.6%	4.9%
ライン(SNS)	2	16	14	1.4%	11.1%	9.8%
インスタグラム(SNS)	1	3	2	0.7%	2.1%	1.4%
ユーチューブ(SNS)	-	9	-	-	6.3%	-
デジタルTVデータ放送(MRT)	11	18	7	7.5%	12.5%	5.0%
新聞記事(報道)	71	62	▲ 9	48.3%	43.1%	-5.2%
テレビのニュース(報道)	100	85	▲ 15	68.0%	59.0%	-9.0%
ラジオのニュース(報道)	46	40	▲ 6	31.3%	27.8%	-3.5%
市政広報ケーブルテレビ	5	-	-	3.4%	-	-
その他	2	4	2	1.4%	2.8%	1.4%
計	481	619	138			

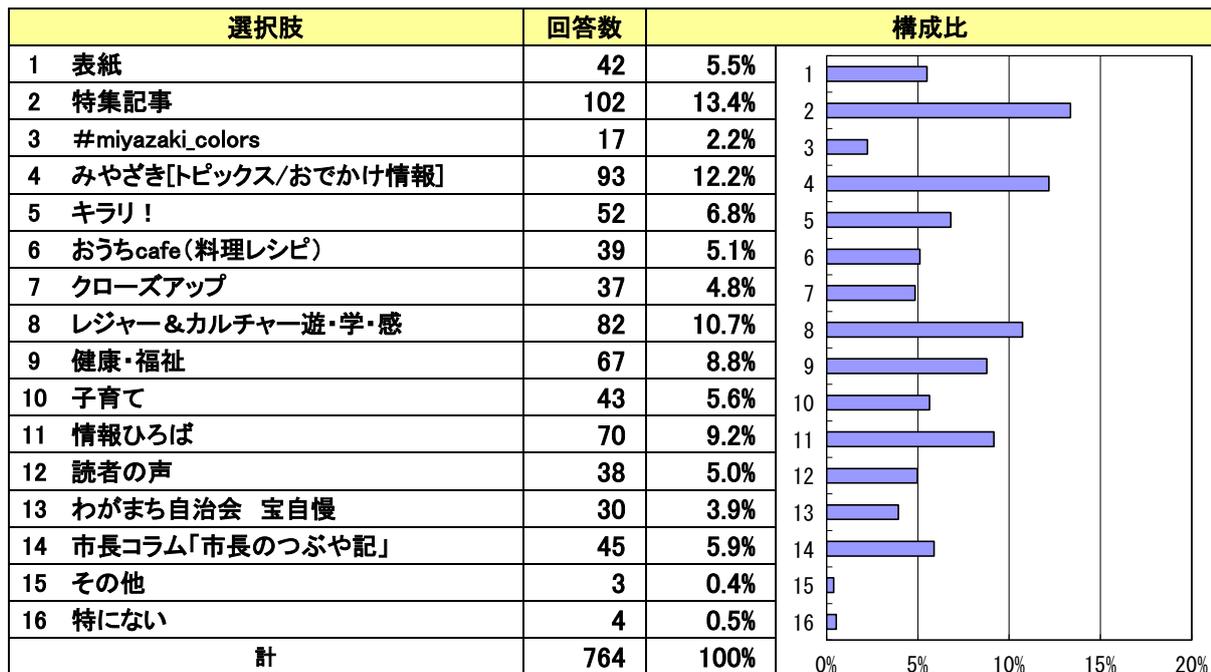
※構成比については、各回答数をアンケート回答者数で割って算出(前回147名、今回144名)

2. 広報紙に関することについて、おうかがいします。

問2 広報紙はどの程度読んでいますか。あてはまるものを1つ選んでください。

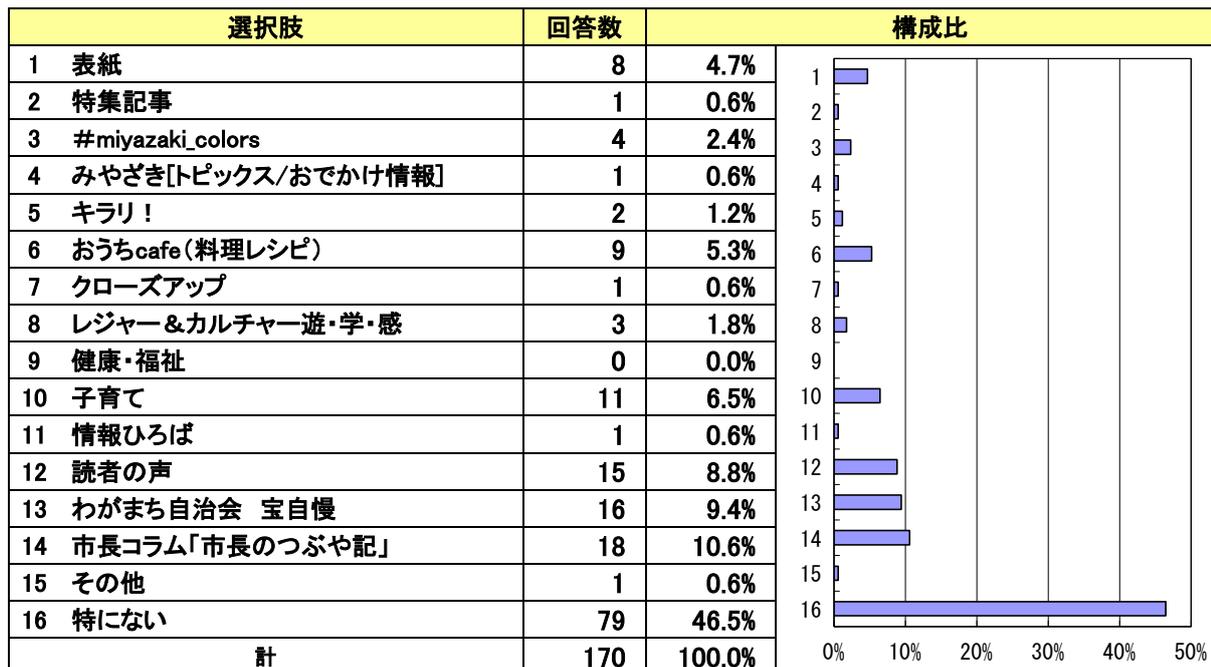


問3 広報紙のページ(記事)で興味があるものを、すべて選んでください。



■「その他」の主なもの
・読者プレゼント

問4 広報紙のページ(記事)で興味がないものがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。



問5 広報紙を見て、イベントに参加したり、担当課に相談したりしたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 イベントに参加したことがある	82	51.9%
2 担当課に相談・問い合わせたことがある	24	15.2%
3 ない	52	32.9%
計	158	100.0%

問6 広報紙の文字の大きさについて、どのように感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 もっと大きいほうがよい	14	10.4%
2 ちょうどよい	120	88.9%
3 もう少し小さくてもよい	1	0.7%
計	135	100.0%

問7 広報紙の言葉遣いについて、どのように感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 分かりやすい	113	83.1%
2 分かりにくい	2	1.5%
3 どちらともいえない	21	15.4%
計	136	100.0%

問8 分かりにくい理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 カタカナ言葉が多い	6	28.6%
2 難しい言葉が多い	4	19.0%
3 言い方がまわりくどい	5	23.8%
4 その他	6	28.6%
計	21	100.0%

問9 広報紙の読みやすさについて、どのように感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 読みやすい	111	83.5%
2 読みにくい	2	1.5%
3 どちらともいえない	20	15.0%
計	133	100.0%

問10 「問9」の答えを選んだ理由を教えてください。

【読みやすい】

- ・文字の大きさは、あれでよいと思う。大きくすれば、それだけ情報量が減る。
- ・ページ数も多くなく、パツと読める。見出しで大体何について書いているのか解る。
- ・文字が大きいしカラフル、見出しも適切。絵や写真が多く読みやすいし分かりやすい。
- ・内容が偏っていないくて、全年齢層に関心を持たせるようにしているのが良い。
- ・固苦しい内容もマンガで表現されており分かりやすい。
- ・昔の市広報紙に比べれば格段に良くなっていると思う。内容を精選しているのもいいと思う。合併して地域の範囲が広がったことも念頭に置いて編集に努力して欲しい。広報紙の厚さも現行程度に抑えて発行してほしい。厚すぎると読まなくなる傾向が強くなるとも言われている。

【読みにくい】

- ・イベント案内等に情報が少なすぎる。文字数の関係とは思うが、日時と会場だけ紹介しても意味がない。内容が知りたい。
- ・広告っぽくて、チカチカするから。余白が少なすぎる。

【どちらともいえない】

- ・受益者には分かるかもしれないが、一般市民は分からない部分がある。専門知識者には分かるかもしれない。
- ・どれも浅い情報で、あまり長く見たいものではないから。一度目を通したら、捨ててしまう事が多い。
- ・興味を持って見たことがない。ざっと見ても心に残ることが一度もなく印象が薄い。

問11 広報紙の内容についておうかがいします。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 理解できる	64	47.8%
2 おおむね理解できる	64	47.8%
3 ときどき理解できないことがある	6	4.5%
4 ほとんど理解できない	0	0.0%
計	134	100.0%

問12 現在、広報紙の表紙は、特集記事に関連したものをイメージして作成していますが、どのような表紙がいいと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 特集記事に関連したものを	69	51.5%
2 特集記事とは関係なく、季節感を感じるものを	31	23.1%
3 どちらでもよい	28	20.9%
4 その他	6	4.5%
計	134	100.0%

■「その他」の主なもの

- ・宮崎の観光名所の方が良い。
- ・もう少し、宮崎のイメージが出ているものが良い。

問13 現在、広報紙は、自治会を通じて加入者宅へ配布しているほか、公共施設や金融機関などに設置しています。あなたは、どのような方法で広報紙を入手していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 自治会を通じて自宅に配布	105	73.4%
2 市役所庁舎(総合支所、地域センター、地域事務所を含む)	6	4.2%
3 市立公民館など、上記2以外の公共施設	9	6.3%
4 宮崎銀行・太陽銀行・宮崎信用金庫・高鍋信用金庫・JA宮崎中央	3	2.1%
5 郵便局	5	3.5%
6 コンビニエンスストア	7	4.9%
7 マックスバリュ	2	1.4%
8 フィットネスクラブ	1	0.7%
9 市ホームページで閲覧	0	0.0%
10 その他	4	2.8%
11 入手していない	1	0.7%
計	143	100.0%

■「その他」の主なもの

- ・県立図書館
- ・イオンモール宮崎
- ・自治会からの配布よりも先に公民館にあれば、公民館で入手する。

問14 病院や歯科医院に閲覧用の広報紙を置いています。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 待ち合いのときに利用した(読んだ)ことがある	50	37.6%
2 置いているのは見かけたが、利用した(読んだ)ことはない	53	39.8%
3 置いているのを見たことがない	30	22.6%
計	133	100.0%

問15 広報紙の全戸配布の必要性についてお考えがいたします。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 経費や手間がかかっても、全戸配布すべきだ	27	19.0%
2 手間や経費がかかるのであれば、全戸配布にはこだわらなくてもよい。市の施設や金融機関などで、自由に持ち帰ることができるようにしてあればよい	96	67.6%
3 分からない	6	4.2%
4 その他	13	9.2%
計	142	100.0%

■「その他」の主なもの

- ・広報紙を全戸配布する必要はないが、全戸に必要な情報のみ配布した方がよい(ゴミ収集、防災訓練等)
- ・難しい。手元があれば読むし、なければ読まない。金融機関等での配布紙は荷物となるので、持ち帰りはしないと
- ・欲しい人が入手できる環境があれば配布する必要はない。
- ・ごみの出し方変更など、重要な情報のみ全戸配布すべき

問16 その他、広報紙についてのご意見などがありましたら、自由にご記入ください。
(掲載してほしい内容や、リニューアルについての感想など)

【主なもの】

- ・とても為になる市の広報紙ですが、マンションのポスト前にある要らないチラシ箱入れに、度々広報紙が何冊も入っている光景を目にする。手間と費用もかかっているのに悲しい。
- ・広報紙、大好きです。毎号欠かさず全て読んでいます。これからも市民に寄り添った特集など楽しみにしています。今、甥と姪が宮崎の神楽に興味を持っているので特集して欲しいです。
- ・身近な法律に関することを掲載して欲しい。法律と生活は切り離せないものであり、知る事でトラブルが減ると思う。
- ・イラストが増えて読みやすくなりました。地元の農産物を使った料理コーナーも魅力的です。
- ・自治会に入っていないので、3年前まで広報誌の存在を知らなかった。どこがどのようにリニューアルされたのか。シニアのページはないのか。
- ・イベントの開催報告よりも告知の方に力を入れて欲しい。また、イベント情報をQRコードで簡単に登録出来たら便利だと思う。
- ・幼稚園や保育園に配れば、若い世代の子どもも目を通すのでは。
- ・全面カラーを無駄に感じる。空白の場所(大きい写真)は要らない。必要な情報を必要なだけ伝えて欲しい。
- ・子育て世代が興味を持つような内容を載せて欲しい。
- ・ページ数や色数を減らしてコスト縮減に取り組むべき。外郭団体(〇〇協議会)などの冊子が閲覧板で回ってくるが、ほとんど見ないので、市広報へ統合できないのか。
- ・もっと宮崎市の魅力を取材して、広報紙に載せて欲しい。市民があちこち外出するように情報をアップするといいいのでは。
- ・以前のイラストの方が面白くてよかった。興味を持って読めた。

- ・マンガで説明する所があるのはページ数が多いのに、内容が少ないので工夫しては。
- ・広報紙を配布するのが、大変と高齢者班長が文句を言う。若い世帯は広報紙が無くても情報を入手できます。年寄りが手に取るのであれば、病院や郵便局などに置けばよいのでは
- ・もっと市をアピールする内容が欲しい。地区ごとに独自で行っている事でも、素晴らしいことは載せて、マネできるように。他県の事も1ページは特集してもいいと思う
- ・市の税金を払っている人には、配布すべき。
- ・ずいぶん読み易くなった。今のところ、改善する必要はないと思う。クロスワードクイズもやさしくなっている
- ・宮崎県内情報(話題になっている話など)のコーナーがあると良い。時々ではなく、毎回特集など。
- ・経費がどれ位かかっているのか知りたい。そこまで広報紙を必要としていないので。あれば読む…程度
- ・全体的に内容が詰め込み過ぎという感じがする。このページ数にふさわしい内容を見やすい大きさの文字で、分かり易く書いてもらすと、高齢者も読み易いと思う。
- ・市役所のお仕事が見えないので、実際に役所に行かなければ分からないことばかりで不便です。市民から市役所に連絡・通報があった内容と対処内容を掲載してほしいです。どんなことをお願いできるのかの目安になります。支所の活用の特集も面白いと思います。
- ・情報誌にこだわらず、デジタル情報を活用して時間や場所にとらわれず好きな時に情報を得られる方が良いと思います。
- ・小学校、中学校などのエアコンの設置状況や見通しについて知りたい。合わせて、トイレなどの改修状況も知りたい。
- ・同程度の規模の市町村の「広報誌及び広報に関連する費用」を常時比較するなどして、コスパを最大化する努力は 弛まずやるべきだと思います。
- ・全ての市民が読むのがいいのですがそれは最初から困難です。表紙の出来栄えが市民が手に取る場合が多いので季節感や宮崎市の美しい場所、お花、動物の愛くるしい動作等のシャッターチャンス抜群の作品等を表紙構成の基本として表紙編集印刷をされると市民が手に取る確率は高くなると思う。フリーペーパー的な表紙の編集はしない方がいいと思う。
- ・毎月配付は大変だと思います。私としては隔月発行で充分だと思いますので一度検討されてみては如何でしょうか？
- ・表紙のイラストが幼い。ぱっと見て他の企業が作成しているフリーペーパーと差がなく、宮崎市が代表する広報紙と考えると、もっとシンプルなものの方がいいのではないかな。
- ・読み物の記事に空間がほしい。字がぎっしり書かれていればいいというものではないと思う。大きく写真を使い、ストーリー性の高い、読ませる記事があったほうが読みたくなる気がする。現状は単なる情報発信にとどまっていた、浅い印象を受ける。「家にとっておきたい」と思うような内容ではない。終わったら捨てる。
- ・全戸配布はやめるべき。捨てている家も多いと思う。

3. テレビのデータ放送利用状況についておうかがいします。

市では、市民の皆さんへ広報の充実を図るため、平成26年5月からテレビのデータ放送による情報配信を行っています。放送局はMRT宮崎放送(地上デジタル6チャンネル)で、リモコンdボタンを押して自治体情報を選択することができます。

問17 宮崎市のデータ放送を利用したことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 利用したことがある	60	42.6%
2 利用したことがない	81	57.4%
計	141	100.0%

問18 上記のデータ放送のうち、どの項目を利用されましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 緊急情報	48	36.6%
2 お知らせ	33	25.2%
3 イベント	22	16.8%
4 地域の行事	12	9.2%
5 子育て	2	1.5%
6 健康福祉	14	10.7%
計	131	100.0%

4. SNSの利用状況についておうかがいします。

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)とは、人と人とのつながりを促進するための、ウェブサイトを使ったコミュニティ型のサービスのことです。市では、現在、SNSを活用した情報発信にも取り組んでいます。

問19 フェイスブックやツイッター、ライン、インスタグラムなどのSNSを利用していますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比	構成比
1 利用している	91	65.5%	
2 利用していない	48	34.5%	
計	139	100.0%	

問20 ツイッターやフェイスブック、インスタなどのSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を利用していますか。あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答数	構成比	構成比
1 Twitter(ツイッター)	26	11.5%	
2 Facebook(フェイスブック)	42	18.6%	
3 LINE(ライン)	84	37.2%	
4 Instagram(インスタグラム)	27	11.9%	
5 YouTube(ユーチューブ)	46	20.4%	
6 その他	1	0.4%	
計	226	100.0%	

■「その他」の主なもの
-さんあ〜る

問21 宮崎市のSNS公式アカウントの中から、閲覧したことがあるものをすべて選んでください。
また、閲覧したことがあるものは閲覧する頻度も教えてください。

1 Twitter(ツイッター) 回答数 13

選択肢	回答数	構成比	構成比
1 週1回以下	7	53.8%	
2 週2,3回程度	3	23.1%	
3 1日1回程度	2	15.4%	
4 1日2回以上	1	7.7%	
計	13	100.0%	

2 Facebook(フェイスブック) 回答数 30

選択肢	回答数	構成比	構成比
1 週1回以下	22	73.3%	
2 週2,3回程度	5	16.7%	
3 1日1回程度	3	10.0%	
4 1日2回以上	0	0.0%	
計	30	100.0%	

3 LINE(ライン) 回答数 32

選択肢	回答数	構成比	構成比
1 週1回以下	13	40.6%	
2 週2,3回程度	3	9.4%	
3 1日1回程度	6	18.8%	
4 1日2回以上	10	31.3%	
計	32	100.0%	

4 Instagram(インスタグラム)

回答数 11

選択肢	回答数	構成比
1 週1回以下	5	45.5%
2 週2,3回程度	3	27.3%
3 1日1回程度	3	27.3%
4 1日2回以上	0	0.0%
計	11	100.0%

5 YouTube(ユーチューブ)

回答数 18

選択肢	回答数	構成比
1 週1回以下	14	77.8%
2 週2,3回程度	0	0.0%
3 1日1回程度	3	16.7%
4 1日2回以上	1	5.6%
計	18	100.0%

問22 市からのお知らせとして、SNSで欲しい情報は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 災害や避難などに関する緊急的な情報	67	44.4%
2 市が主催するイベントや講座などの情報	37	24.5%
3 子育てや健康・福祉などの情報	20	13.2%
4 観光情報	16	10.6%
5 まちづくり政策に関する情報	10	6.6%
6 市長からのメッセージ	0	0.0%
7 その他	1	0.7%
計	151	100.0%

■「その他」の主なもの

・全部だと思う。

5. 最後におうかがいします。

問23 市が行う広報活動全般について、ご意見やご提案などがあれば、自由にご記入ください。

【主なもの】

・広報誌に民間の広告を載せている点は良いと思う。載せることによって少しでも経費が浮けばよい。又、広報とは異なるが、ゴミ袋にも広告を載せた方がよいと思う。

・イベント・行事の案内をできるだけ早い段階から発信していくべき。未確定であっても、確定している情報から早めに先の情報を発信して欲しい。

・私はSNSを利用していないのですが、これからの若い人にアピールするために、市もどんどんSNSで広報活動をした方がいいのだろうと思う。

・広報活動は、しすぎるということはないと思う。あらゆる方法で、出来る限り多くの人の目にとまるよう活動して欲しい。前回のアンケートの意見・提案で実施したこと、実施不可能なことなどの報告をして欲しい。

・ローカルの情報番組をもっと活用して欲しい。新しいお店が出来たという情報と同じように、市はこんなことをやりたいと思っている…といったような情報を発信して欲しい。

・広報紙があると、後でもう一度見返せるので、再確認できる貴重な資料です。

・災害や避難などに関する情報は、繰り返しPRして欲しい。

・テレビのデータ放送やSNSが一番新しい情報を流せるので、もっと市民に定着するようにするとよい。

・広報紙をHPで見えている住民の状況や広報紙にかかる経費等も、可視化して欲しい。指定場所の設置(広報紙)は、ファイリングでもいいのでは。

・行政とIT関連業者とタイアップして、公民館等でSNS普及を進める講座を、特にシニア向けに開いて欲しい。

・災害や避難の訓練の時、スマホに流れたのがよかった。

・TVや新聞をほとんど見ず、自治会には加入しているが、あまり交流もなく、職場と家の往復が基本の毎日なので、あまり情報が入ってこない。が、SNSやLINEはよく見るのでよかった。

・活字・データ通信もいいが、肉声の伝言も必要ではないか

・とてもカラフルで見やすい。今後も様々な情報をわかりやすく掲載してほしい。

・どんなに市側が努力しても、自ら情報を得ようとする気持ちが市民になれば届かないと思う。

・新聞やテレビなど高齢者が利用しやすい広報活動をお願いしたい。

・広報紙の発行を、もっと早くできないか。例えば、毎月25日前後。

・他県の人が広報誌を見て、市民に寄り添った内容で、細部まで読み甲斐・見甲斐のある広報誌だと言っていた。

・災害時の情報を、素早く発信していただきたい。

・『全世代に繋がる情報紙』とは、素敵な言葉だが、内容の置き方が高齢者向きではないと思う。以前、表紙の文字がアルファベットになっていた折、高齢者は平仮名の方が嬉しいと書いたら、そのように直して頂きとても嬉しかった。どうぞ、市民の皆さんが読んで‘ホッとする’心の温かくなるような情報誌になるようお願いする。

・市役所のお仕事が見えません。どんなことなら相談できるのかわかりやすく発信してください。

・これからの時代には紙面情報はそぐわないと思います。積極的にSNSを活用すべきだと思います。

・同程度の規模の市町村の広報誌及び広報に関連する費用を常時比較するなどして、コスパを最大化する努力は弛まずやるべきかと思えます。(広報のことだけに関するのではなく、市政施策の全部にいえることであると思えますが、……?)

・広報って何でしょうね。一方的な市の活動を知らしめることだけでなく、理解してもらおうということだそうですね。情報は必要ですし、その中から自分に適したものをチョイスし、ドンピシャ当たりの時はうれしいですし、広報されたものから、市の担当の方にお電話し、詳細をうかがうことも有り、対応していただければ行動にも起きます。広報って大事なんですよね。

・全ての市民が読むのがいいのですがそれは最初から困難です。表紙の出来栄が市民が手に取る場合が多いので季節感や宮崎市の美しい場所、お花、動物の愛くるしい動作等のシャッターチャンス抜群の作品等を表紙構成の基本として表紙編集印刷をされると市民が手に取る確率は高くなると思う。フリーペーパー的な表紙の編集はしない方がいいと思う。

・今ではインターネットで情報を検索するのが当たり前だが、宮崎市のHPは検索しにくいイベントがわかりにくい。もっとわかりやすいページづくりにしてほしい。

・市民が要望を出しやすくなるような広報を期待する。

・市の情報を広げるのに効率的かつ的確というのは不可能ではないかと思えます。市民全員に情報を届けるのが市役所広報の本来の業務であると考えます。効果的な方法や場所をターゲティングしてそこに届けるというのは、情報が有る人・無い人で、届く人・届かない人が出来てしまいます。市民全員に効果的に安価で配布出来るのかを先ずは考えるべきではないでしょうか。

・宮崎市の公式アカウントを、知りませんでした。もっと周知して頂けると、嬉しいです。

・テレビでの広報が少ないような感じがします。SNSなどを積極的に利用していなければ、あまり情報が入ってこないのではないかと思います。

・市が現状行っているものは、SNSは若者向け、紙での配布や新聞広告は、お年寄りやSNSを使用しない人にも役立つので今のバランスで丁度いいと思う。